

## 事後評価調書(案)

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業(たん水防除事業)																										
地区名	なべたにき 鍋田2期地区																										
事業箇所	弥富市 <sup>なべたちょう</sup> 鍋田町外																										
事業のあらまし	<p>本地区は、愛知県の南西部に位置し、西に鍋田川、東に筏川<sup>ひかたがわ</sup>、南は伊勢湾に囲まれた水田地帯1,461haの排水を担う農業用排水機場などを整備するものである。地区内の排水については、本地区内の全域がゼロメートル地帯であるため、洪水時以外の通常時においても4か所の排水機場<sup>すまひろ</sup>(末広排水機場、末広第2排水機場、鍋田南部排水機場、鍋田南部第2排水機場)により伊勢湾へ強制排水している。</p> <p>しかし、既設排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下や、近年の都市化の進展による降雨流出量の増加により、排水状況は著しく悪化し、豪雨時にはしばしば湛水被害が生じていた。</p> <p>このため、機能低下が著しい末広排水機場、鍋田南部排水機場及び排水路等を一体的に整備することにより湛水被害を防止し、農業経営の安定と県民生活の安全・安心を図ることを目的として、1996年度からたん水防除事業鍋田2期地区を実施し2017年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>排水機場などを更新整備し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止する。 (計画基準雨量 336.0mm/3日、1/20年確率雨量)</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	66.0億円		■工事費 58.1億円、■用補費 1.5億円、■その他 6.4億円																								
事業期間	採択年度	1996年度	着工年度	1999年度	完成年度	2017年度																					
事業内容	排水機場	2か所																									
	排水路	L=4.1km																									
	排水樋門	1門																									
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業完了後からの5年間で、最大3日連続雨量は2017年10月21日~23日に275.0mm(最大1時間雨量36.5mm)を観測したが、農地や公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 (愛西観測所降雨データ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大3日連続雨量</td> <td>336.0mm</td> <td>275.0mm</td> <td>193.0mm</td> <td>110.0mm</td> <td>172.0mm</td> <td>179.5mm</td> </tr> <tr> <td>(最大1時間雨量)</td> <td>(54.1mm)</td> <td>(36.5mm)</td> <td>(31.0mm)</td> <td>(31.0mm)</td> <td>(47.0mm)</td> <td>(34.5mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>最大3日連続雨量、最大1時間雨量共に計画基準雨量以下であるが事業完了以降、湛水被害は発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	2017	2018	2019	2020	2021	最大3日連続雨量	336.0mm	275.0mm	193.0mm	110.0mm	172.0mm	179.5mm	(最大1時間雨量)	(54.1mm)	(36.5mm)	(31.0mm)	(31.0mm)	(47.0mm)	(34.5mm)
	区分	計画	2017	2018	2019	2020	2021																				
最大3日連続雨量	336.0mm	275.0mm	193.0mm	110.0mm	172.0mm	179.5mm																					
(最大1時間雨量)	(54.1mm)	(36.5mm)	(31.0mm)	(31.0mm)	(47.0mm)	(34.5mm)																					
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>																										

②事業効果の発現状況

【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】

項 目		再評価時 (2回目)	実績 (2017)	備 考
事業期間		1996～2015 (20年間)	1996～2017 (22年間)	
事業費 (億円)	工事費	55.2	58.1	
	用地補償費	2.1	1.5	
	その他	3.6	6.4	
	合計	60.9	66.0	5.1億円増
効果の 算定要因	流域面積	1,461ha	1,461 ha	増減なし
	農地面積	870 ha	828 ha	42ha 減
	宅地等面積	591 ha	633. ha	42ha 増

【事業期間に対する評価】

事業期間を2年(2015年→2017年)延長したが、既存の排水機場を活かしながら工事を進めたため、期間延長による大きな影響はなかった。

【事業費に対する評価】

排水路工における鋼矢板打設工法の見直し等により、事業費が5.1億円増で事業完了した。

【効果の算定要因に対する評価】

再評価時と比較して、流域面積に増減はないが、地区内の開発により農地・宅地面積が1割程度増減している。

排水機場の更新整備により湛水被害が防止されており、効果については、計画どおり発現していると評価できる。

③事業実施による環境の変化

工事施工にあたり、低振動、低騒音の作業機械を使用するなど、周辺環境に配慮したことから、自然環境や生活環境へのマイナスの影響はほとんどない。

III 対応方針(案)

今後の事後評価の必要性

主要目標が計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。

改善措置の必要性

主要目標が計画通り達成されているため、改善措置は不要である。

同種事業に反映すべき事項

更新整備を行う場合は、既設の施設を活かしながら施工するなど、事業実施中においても湛水被害防止に配慮する。

IV 事業評価監視委員会の意見

V 対応方針